



# グローバルに生きる！

## はじまりはGLOCOLだった

### 2015年12月11日(金) 16:00～19:00

大阪大学豊中キャンパス スチューデント・コモンズ カルチェ・ミュルチラング

2007年にGLOCOLが誕生し、多くの学生がGLOCOLの大学院高度副プログラム、海外フィールドスタディ、海外インターンシップに参加しました。学部や研究科の垣根を越えたGLOCOLでの学びを経て、学生たちはどんな将来を描いたのでしょうか。様々な分野で活躍する卒業生たちの生の声を聞き、大学が果たすべき役割について考えていきたいと思います。

報告者：GLOCOLのプログラムに参加した阪大修了生。

司会：思沁夫（GLOCOL特任准教授）、小峯茂嗣（GLOCOL特任助教）

挨拶：平田收正（GLOCOLセンター長）

黒田篤楓（くろだ・あつき）  
「全部繋がっているんだと思います。」

日本Tata Consultancy Services株式会社。2015年大阪大学法学部国際公共政策学科卒業。

学生時代は京都とインドを拠点とする「光の音符」にてスラムの子どもたちに音楽やダンスを教える活動に関わる。またフラッシュモブ団体「Happy Clowns」にて、「真剣な思いを楽しく伝える」ためにフラッシュモブを行う。GLOCOLではバングラデシュでのフィールドスタディ、インドへのプレ・インターンシップなどに参加。現在インド系ITコンサルティング会社に勤める。



切川菜央（きりかわ・なお）  
「森の精霊が教えてくれたこと」

神鋼環境ソリューション株式会社産業水処理事業部。2013年大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー専攻卒業。

大阪生まれ大阪育ちの27歳。幼少期から現在まで自然の中で遊ぶことを好む。小学生時代のゆとりの授業で環境問題について学び、地球は私が救わなくては！と思い立ち、大学～大学院では環境工学を専攻。GLOCOLでは、タイ・チェンマイや、中国・雲南でのフィールドスタディに参加。現在は水処理プラントメーカーに勤め、民間企業向けの水処理設備の計画を担当。



林 若可奈（はやし・わか）  
「本当は身近なグローバルライフ」

2012年大阪大学人間科学研究科卒業。

学校法人KTC学園屋久島おおぞら高等学校、株式会社KTC中央学院勤務を経て、大阪大学人間科学研究科グローバル人間学専攻（社会開発論）博士前期課程に進学。GLOCOLのプログラム「人間の安全保障と開発」、「グローバル共生」を修了。2011年度のフィリピンでのフィールドスタディに参加。FIELDOSIエイツ（TA）としても勤務。2012年3月に同専攻を修了後、豊中市役所勤務を経て、青年海外協力隊員としてニカラグアで活動（青少年活動）。



若林真美（わかばやし・まみ）  
「国際協力キャリアへの挑戦」

大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程公衆衛生学教室所属。

大阪大学医学部保健学科看護専攻卒業、大学院医学系研究科博士後期課程在籍中。修士課程在学中に大学院等高度副プログラムを8コース修了。GLOCOLや薬学研究科等が実施したフィールドワーク、インターンシップならびに研修に参加して7か国計10回を海外渡航。フィリピンでの学生課外活動やオーストラリア国立大学への研究留学なども経験。2016年4月より、株式会社コーエイ総合研究所にて、国際開発コンサルタントとして勤務予定。



参加：無料、要事前申し込み。件名を「12/11セミナー参加」、本文にお名前、所属を記載のうえ、[info@glocol.osaka-u.ac.jp](mailto:info@glocol.osaka-u.ac.jp) までお申し込みください。当日参加も可能です。

主催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター（GLOCOL）